

第 111 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2023 年 1 月 30 日（月） 10：00～12：00
2. 場 所：オンライン会議（Zoom）
3. 出席者（役職順／所属順、敬称略）
 - 議長：草柳 俊二
 - 副議長：吉開 範章
 - 幹事：伊藤 和也、木下 宏揚、横山 真吾
 - 委員：皆川 勝、大澤 和敏、貴志 公博、石川 孝重、鎌田 潤一、夏目 賢一、鈴木賢太
 - アドバイザー：三木 哲也、松久 寛
 - オブザーバー：田中 克、岩西 伸介
 - 事務局：木暮 賢司
4. 議題
 - ① 日本機械学会からの委員追加について
 - ② 前回議事録(案)について（審議）（技倫資料111-3-1, 111-3-2）
 - ③ 令和5年度事業計画案（技倫資料111-4）
 - ④ 第18回公開シンポジウム開催報告（技倫資料111-5）
 - ⑤ 会員学協会活動報告について（報告）（技倫資料111-6）
 - ⑥ 日本技術士会IPEJ Journal 執筆依頼について
 - ⑦ 次回第111回以降協議会日程について（審議）（資料なし）
 - ・ 第111回：2023年 月 日（ ）
 - ＊時間： ： ～ ：
 - ＊場所：Zoom（予定）
 - ⑦その他
5. 議事
 - ① 日本機械学会から、委員追加について依頼があり、原案を承認した。
 - ② 前回議事録(案)について、議事内容の確認、審議を行い、原案を承認した。
 - ③ 令和5年度事業計画案について、3役で案を作成し日本工学会理事会で承認されたものの報告があった。
 - ④ 第18回公開シンポジウムの開催報告があった。
 - ⑤ 会員学協会活動報告について下記のように報告があった。
 - ⑥ 日本技術士会IPEJ Journal 執筆依頼について依頼があった。
 - ⑦ 次回第112回は、2023年2月27日（月）13時30分から15時00分までオンライン（Zoom）で開催する。
 - ⑧ その他

第 111 回技術倫理協議会（2023 年 1 月 30 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	次回、3月2日に開催予定の理工学分科会に向けて、引き続き、倫理教材の新たな単元の内容について、ワーキングごとに検討を進めている。また、3月20日に開催される第5回アジア太平洋研究公正ネットワークミーティングに合わせて開催される理工学分科会における講演等の準備を進めている。
2	電気学会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11/24、12/19、1/12 に倫理委員会第3集WG幹事会を開催 ・ 12/14 に倫理委員会本会を開催 ・ 1/20～21 に教育フロンティア研究会において倫理委員会特別企画「研究公正」を開催
3	電子情報通信学会	12/3-12/4に開催された技術と社会・倫理研究会と情報処理学会コンピュータと教育研究会の連催で「シンポジウム技術と倫理をめぐる対話と倫理綱領事例集：倫理綱領改訂と2学会共同倫理綱領事例集制作」が開催され、招待講演として「電子情報通信学会の倫理綱領改訂について」、「情報処理学会の倫理綱領改訂について」、「倫理綱領の普及のための工夫について」、「専門家と非専門家の対話に倫理綱領はどのように貢献できるか」、「脆弱性対応に関する倫理綱領とベストプラクティス」、「パネルディスカッション技術と倫理をめぐる対話と倫理綱領事例集」が行われた。1/12にIEICE・IPSJ合同倫理事例検討会議が開催され、スケジュールの確認や総合大会企画セッションについて検討した。
4	土木学会	<p>継続的契約管理セミナー https://committees.jsce.or.jp/rinri/node/41 【開催済み】第5回2023年1月10日（火） 1) 「公共工事標準請負契約約款の条項分析第26条～第39条」草柳俊二（高知工科大学名誉教授） 2) 「公共調達と契約変更の実際（2）」木下誠也（日本大学教授） 【開催予定】第6回2023年2月15日（水） 1) 「公共工事標準請負契約約款の条項分析第40条～第62条」草柳俊二（高知工科大学名誉教授） 2) 「紛争解決システムに関する分析」五艘隆志（東京都市大学准教授）</p>
5	日本化学会	
6	日本機械学会	<p>2022年12月13日（火）第3回技術倫理委員会を開催 ・ 2023年度年次大会（東京都立大学）特別企画についての議論を行った。 ・ 技術倫理委員会、規定見直しWG（（佐藤国仁委員（主査）、伊勢田哲治委員、岩熊眞起委員、長島昭委員、松久寛委員）2022年2月設置）から夏委員長からの諮問に対して答申案が出された。 ◇再評価を行うルール (1)原則として、毎年度再検討の要否を検討する (2)その都度、公式に検討記録を残す ◇いま再評価の検討を開始するべきかについて 本会の倫理規定は会員が遵守すべき規範として定められている。しか</p>

	学協会名	報告概要
		し、特に近年、会員個人が負うことが困難な倫理的課題が数多く現れている現実の複数の課題を検討した結果、次の理由により技術倫理委員会にて検討する価値があると判断した (1)社会的に求められていること (2)過去にこれらの課題に対応する活動実績があること (3)他学会での倫理規定のなかに先行事例があること
7	日本技術士会	1.第9回倫理委員会 2022年12月7日(水)15:00~17:00 (WEB会議) ①技術士倫理綱領の改定案がまとまり、添付資料として、新旧対照表、手引き、会員意見募集結果等を取りまとめ中。倫理委員会@2/8を経て理事会@3/8にて審議/承認を得て正式発効となる見込みで、日本技術士会HPでも公開する予定。 ②第14回技術者倫理シンポジウム@5月開催の準備中。 ③地域本部倫理委員会(全国8地域)活動と連携を図るため、来期より統括本部倫理委員会にも委員を参加してもらうこととなった。 2..今後の予定 ・第10回倫理委員会 2023年2月8日(水)15:00~17:00 (WEB会議)
8	日本原子力学会	
9	日本建築学会	
10	日本工学教育協会	・協会発行物の撤回, 取り下げの規程類継続検討. ・研究倫理啓発教材開発検討 ・調査研究活動「社会の福利を志向する技術者育成(ポジティブエンジニアリング教育)の可能性の検討」2022/10~2023/9 ・第71回年次大会・研究講演会にてオーガナイズドセッション企画予定
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(以上)